

ご自宅の耐震診断・耐震改修を行いますか

木造住宅の耐震診断・耐震改修を行う方に、費用の一部を補助します。

〔耐震診断・改修共通〕

▼補助対象木造住宅Ⅱ次のすべてに該当する木造住宅

①市内に所在していること

②昭和56年5月31日以前に着工されたもの

③一戸建ての住宅（居住部分が1/2以上の併用住宅を含む）

④在来軸組工法により建築された地上2階建以下のもの

※耐震改修は耐震診断により耐震性が低いと判断されたもの。

〔補助金額の概要〕

▼耐震診断Ⅱ耐震診断費用の2/3に相当する額（8万円を限度）

▼耐震改修Ⅱ耐震改修（工事・設計・監理）費用の一定割合を限度

④在来軸組工法により建築された地上2階建以下のもの

大網白里市民アンケート調査にご協力を

現在、福祉・子育てなどのさまざまな課題に加え、コロナ禍による新しい生活様式への対応など新たな課題も生じていることから、多くの市民の皆さんの意見を伺い、今後の市の施策立案に活用するため、アンケート調査を実施します。

調査票が郵送された方は、ご協力をお願いします。

▶対象＝18歳以上の市内在住者3,000人（無作為抽出）

企画政策課政策推進班

☎0475(70)0315

事務事業評価（行政評価）に関するパブリックコメントを実施

市では、令和3年度に実施した主要事業等の事務事業評価（行政評価）を行っています。

事務事業評価とは、実施した事業の内容を振り返って評価を行い、その結果を踏まえて、今後の事業の改善を図っていくものです。事業に対する皆さんのご意見をお寄せください。

▼対象事業Ⅱ令和3年度当初予算編成時の主要事業等

▼公表場所Ⅱ市ホームページ

の額（40万円を限度）
詳細は市ホームページをご覧ください。お問い合わせください。

◆住宅の耐震化について無料相談会を開催します（わが家の耐震相談会）

近年日本各地で大地震が発生しており、地震への備えが重要となっています。



▲市ホームページ

区・自治会に加入しましょう

区・自治会は、住民同士の親睦、生活環境の維持等の活動のほかに、高齢者の見守りや子どもの安全対策、地域の団体や行政と連携して地域課題の解決を図るなど、まちづくりの中心的な担い手となっています。住みよいまちをつくるために区・自治会に加入

出してください。
※いただいたご意見は、市の考えなどと併せてホームページで公表する予定です。詳細は問い合わせください。

大網白里市大綱115-2

企画政策課政策推進班

☎0475(70)0315

☎0475(72)8454

✉kikakuseisaku@city.oomishirasato.lg.jp

oamishirasato.lg.jp



市では、昭和56年以前に建てられた木造住宅の耐震化について、専門家による無料個別相談会（予約制）を開催します。

▼日時Ⅱ9月9日（金）9時～12時（相談時間は1組30分以内）

※個別相談会は予約制。

▼予約締切Ⅱ8月31日（水）

▼対象Ⅱ市内に在り、昭和56年以前に建築された木造住宅の所有者

詳細は問い合わせください。

☎0475(70)0366

企画政策課政策推進班

☎0475(70)0366

住宅用設備等脱炭素化促進事業補助金の申請を受付中

地球温暖化対策や電力の強靱化を図るための住宅用設備等を導入した方に、設置費用の一部を補助します。対象の方は申請ください（旧「住宅用省エネルギー設備等設置費補助金」）。

▼主な要件等

①補助対象設備を導入した住宅に自ら居住し、本市の住民基本台帳に記録されている方であること

②世帯全員が市税を滞納していないこと



▲市ホームページ

ミーティングを開催 第21回 マリンの土産店



市では、市民や各種公益団体、事業者等、幅広い分野に携わる多くの方々と自由な意見交換を行うことで「未来に向けてみんなで作ろう！住みたい・住み続けたいまち」に向けた今後の市政運営への参考とするため、ふれあいミーティングを開催しています。

21回目となる今回は、市内初のアンテナショップ「マリンの土産店」の皆さんにお話を伺いました。



※「マリンの土産店」以下「マリン」

市長 市内初のアンテナショップとしてオープンして3年経ちましたが、これまでの取り組みを振り返って印象的なことはありますか。

マリン オープンしたては良かったのですが、令和に入って厳しい状況が続いています。オープンした年の秋に大きな台風が来て、雨漏りで書類や多くの商品が水浸しになってしまいました。それが一息ついたら、感染症の流行が始まってしまい、2020年の4月から6月は休みにせざるを得ませんでした。感染症の影響では、お客様に試食をしていただけないのが一番つらいですね。

市長 新型コロナウイルスによって、働き方を含め、社会のあり方も変わってきました。それを見据えて、何か新しい取り組みは考えていますか。

マリン 対面で人と会う機会が無くなってお土産を渡す機会も減り、お土産やアンテナショップの意味も薄れてきているのかもしれませんが、これを機に色々な切り口のサービスも提供できたらいいですね。

例えば、真紅の美鈴（黒いちご）は、生産者がまだ少なく、県をあげて売り出すのが難しいので、アンテナショップ独

自のPRもやっていけたらいいと思います。

また、買い物難民も増えてきたので、はまバスやコミュニティバスを活用した取り組みもできたらいいですね。

市長 市内では、移動販売など新しい買い物の仕方も始まっています。

マリン 注文を受けて、各地区の特定の場所に運んでくれるようなサービスがあれば、売る方も空振りにならないし、いいかもしれませんね。

市長 これからも地域の魅力を市民に発信していただきたいと思います。では、何か市民の皆さんにメッセージはありますか。

マリン 苦しい状況は続きますが、作っている人が「この商品を売りたい」と作ってきたものを皆さんに届けるというアンテナショップとしての使命をしっかりとしていきたいです。

とにかく来て、市の魅力に触れていただきたいですね。同時に、「ぜひこれを売りたい」という出展を希望する方も募りたいです。

市長 台風にも負けず、コロナにも負けず、がんばってください。

令和5年度実施住民協働事業の提案事業を募集しています

市では、地域課題の解決を図るため、住民団体が自主的、または主体的に企画・実施する公益性のあるまちづくり事業に対して補助金を交付しています。

▶対象事業

・住民提案型事業＝住民団体が企画立案した、公共的な課題の解決、または地域活性化につながる事業（テーマは自由・補助限度額30万円）

・行政提案型事業＝市が提示する課題に対し、住民団体により企画立案された事業（補助限度額は事業内容により定めます）

〈行政提案型事業テーマ〉

次のテーマで募集します。

・デジタルデバインド対策事業

「誰一人取り残されない、人に優しいデジタル社会」の実現に向け、デジタルに不慣れな方や高齢者・障がい者等に対し、デジタル機器・サービスの基本的な利用方法のサポートや、スマホ教室やセミナーを開催するなど、デジタルデバインドの解消に取り組む。

・男女がともに輝く地域づくり事業

男女共同参画を身近なものとして考えられるよう、地域や職場における啓発活動を行う。特に、市内事業所への啓発および市民意識調査の実施に重点を置いた取り組みを行う。

・「郷土の歴史書概要版（仮）」の編纂業務

郷土資料を活用して、「郷土の歴史書概要版（仮）」を作成する。

・地域猫活動

地域住民が主体となり、ボランティアおよび行政が協働して野良猫トラブルの減少を目指す。

▶申込期間＝9月22日（木）まで

▶その他＝事業の詳細は「応募の手引き」をご覧ください。

※「応募の手引き」は、地域づくり課、農業振興課、中央公民館、白里出張所、中部コミュニティセンター、社会福祉協議会、市ホームページから入手できます。

申・☎地域づくり課市民協働推進班 ☎0475(70)0342